

## 平成 28 年 12 月 北秋田市長定例記者会見

平成 28 年 12 月 27 日（火）10 時 30 分  
市役所本庁舎 大会議室

1. 今年 1 年を振り返って
2. 森吉山阿仁スキー場「樹氷鑑賞」について・・・資料 1
3. 北秋田市おもてなし宿泊支援事業について・・・資料 2

### その他

- ・ 1 月の行事予定
- ・ 秋田内陸線車内での「おもてなし」サービスの実施について・・・資料 3

## 1. 今年1年を振り返って

今回の定例記者会見が本年最後となりますので、1年を振り返っての感想と新年の抱負について少しお話させていただきます。

今年は、地元出身力士であります豪風関の秋田県県民栄誉章受章や、第65回全国スキー大会での秋田北鷹高校スキー部女子の総合優勝、そして、地域の悲願でありました高速道路への接続など、大きな感動と希望が生まれた年でありました。

また、市政におきましては、第二次北秋田市総合計画がスタートし、その重点プロジェクトとして定めております「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、当市の創生と地域課題の解決に向け、様々な取り組みを始めた年でありました。

4月には、当市の大きな課題の一つであります中心市街地活性化の核となる「市民ふれあいプラザ コムコム」がオープンし、本日までに16万人を超える方々のご利用をいただくなど、中心市街地において、当初の予想を上回る大きな人の流れを創り出すことができました。

そして、その人の流れを取り込むべく、地域の皆様による様々なイベントが開催され、新たな賑わいが創出されるなど、明るい話題が出てきたところであります。

また、同じく4月にオープンいたしました伊勢堂岱縄文館は、1万人近くのお客様にご来場をいただき、世界でもここにしかない4つのストーンサークルから成る遺跡の学術的価値への理解を深めていただく施設として、高い評価をいただいたところであります。

観光面におきましては、これまで施設等の整備を進めてまいりました森吉山周辺への観光客が目に見えて増加してきておりまして、今年は、さらなるブランド化を進めるべく、山形蔵王、青森八甲田と並ぶ「日本三大樹氷鑑賞地」として、PRを行ってきたところであります。

また、地域連携DMO「秋田犬ツーリズム」へ参画し、インバウンドを含めた誘客を推進するため、国内外へ向けた大規模な観光PRを行いましたほか、宿泊施設等の設備充実に向けた補助事業にも取り組んだところであります。

このほか、浜辺の歌をご縁として、JR東海道線辻堂駅の発車ベルが「浜辺の歌」のメロディーに変更になりました神奈川県藤沢市で行われた記念行事への参加や、秋田北鷹高校と台湾国立龍潭（ロンタン）高級中学との姉妹校締結など、新たな交流が生まれたところでもあります。

生活基盤の維持向上の面では、南鷹巣住宅の建替え事業が順調に進み、第I期工事の8戸が完成し、来年1月1日から供用を開始いたしますほか、森吉・合川地区統合簡易水道整備事業では、送水管布設工事がほぼ完了し、来春には一部給水可能となります。そして、大型事業でありますクリーンリサイクルセンター建設工事につきましては、平成30年3月の竣工に向け、順調に進んでいるところであります。

来年は、高速道路・空路・鉄路と併せた3つの高速交通体系が確立された恵まれたインフラのもと、新たな企業進出や物流量の増加、広域周遊観光客の増加など、

地域内での「人」「もの」の流れが大きく活性化するものと期待しているところであります。

そうしたプラス効果を地域全体で享受できるよう、総合計画の重点プロジェクトに定めた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による事業を着実に進め、目に見えた成果にすることで、当市の創生と活性化をさらに加速させてまいりたいと考えているところであります。

## 2. 森吉山阿仁スキー場「樹氷鑑賞」について

来月1月7日（土）から森吉山の樹氷観賞期間が始まります。

今年は降雪も早く、樹氷は順調に成長しているそうでありまして、迫力のある樹氷が皆様をお迎えできるものと期待をしているところであります。

森吉山の観光につきましては、昨年度のゴンドラ駅舎改修や、ビジターセンター「ぷらっと」の整備などにより、多くのお客様から好評をいただいているところでありまして、今年度は更なるブランド化を進めるため、山形県の蔵王、青森県の八甲田とともに、「日本三大樹氷鑑賞地」として、積極的にPRを行ってきたところであります。

また、今年度は、樹氷鑑賞客の受け入れ態勢の充実を図るため、樹氷鑑賞期間中の1月7日から3月5日までの間、樹氷案内人を毎日配置いたしますほか、樹氷の仕組みを学ぶ樹氷教室も開催することといたしております。

そして、今年もこの樹氷鑑賞期間に合わせて、「森吉山周遊乗り合いタクシー」の運行のほか、内陸線と乗合いタクシー、ゴンドラの往復券がセットになったお得な「森吉山観光パス」が販売されます。

特に、「森吉山観光パス」は、平日最大で、1,500円お得になりますほか、市内施設でパスを提示することで「ちょこっとサービス」が受けられるものですので、是非ご活用いただきたいと思いますと考えております。

白銀の世界に輝く樹氷群を多くのお客様に楽しんでいただきたいと思いますと考えておりますので、皆様からもPRいただきますよう、よろしく願いいたします。

### 3. 北秋田市おもてなし宿泊支援事業について

この度、市内の宿泊事業者による地産商品等を活用した宿泊プランに対し、利用者1人につき2千円を宿泊事業者へ助成する「北秋田市おもてなし宿泊支援事業」を行うことといたしました。

この事業は、冬期間に減少傾向にある宿泊利用者の増加を目的としておりまして、宿泊事業者への助成をプランの価格に反映させることで、間接的に利用者も安く宿泊プランをご利用できるものであります。

対象期間を来年1月1日から3月20日までとし、今のところ市内13の宿泊事業者から33のプランの申請をいただいているところでありまして、参加施設や宿泊プランの内容につきましては、市のホームページのほか、宿泊事業者のホームページやチラシ等でお知らせする予定としております。

現在、申請いただいておりますプランを紹介いたしますと、バター餅などのお土産をサービスする「お土産付プラン」のほか、ジビエや北秋田の地場産品、どぶろくなどをサービスする「お料理付プラン」、きりたんぼ作りやバター餅作りなどの体験をセットにした「体験プラン」、阿仁スキー場のゴンドラ券をセットにした「施設利用プラン」などがありまして、いずれもお得に北秋田市を堪能できるよう、宿泊事業者の皆様が心を込めた「おもてなしプラン」を用意しておりますので、市外の方だけでなく市民の皆様にも是非ともご利用いただき、北秋田の冬をお楽しみいただきたいと思いますと考えております。

## その他

### ・秋田内陸線車内での「おもてなし」サービスの実施について

秋田内陸地域公共交通連携協議会では、昨年度に引き続き秋田内陸線へご乗車いただいたお客様への「おもてなし」サービスとして、車内でのお菓子等の配付を実施します。

このサービスは、秋田内陸線へご乗車のお客様に対して、お菓子等のふるまいや、地元の人々とのふれあいを通じた「おもてなし」を行うことで、内陸線とその沿線地域のさらなる魅力の向上を図ろうとするものでありまして、人気のお座敷列車や展望車両に乗車いただける「新春雪見列車」が運行される1月7日、9日と、JR東日本の「大人の休日倶楽部パス」の利用期間であります1月21日、22日に実施することといたしております。

この機会に内陸線沿線地域の皆様の心のこもったおもてなしと、車窓からの雪景色をお楽しみいただきたいと考えております。